

令和4年度 適性検査Ⅰ 正答・正答例及び評価基準

※漢字の誤字は減点の対象としない。

問題番号		正答または正答例		配点			評価上の留意事項																																					
問	小問			小問	小計	計																																						
1	(1)	①	あ	カ	5	8	(1)① 完答とする。																																					
			い	ウ																																								
	う		エ																																									
	え		キ																																									
	お		オ																																									
	②	(例)たくあんをあまくすること。	3	24	16	(1)② 「たくあん(たくわん)があまくなること。」も正答とする。また、文末に「こと」がなくても、内容が同意であれば正答とする。																																						
①	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ほしがき作り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>糸のより出し</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>		1				2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	ほしがき作り										○	○		糸のより出し	○	○	○								○	○	2
		1	2				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																												
	ほしがき作り													○	○																													
糸のより出し	○	○	○											○	○																													
か	セ	2																																										
き	コ	2																																										
②	く 氷もち作り (5字) け 和紙すき (4字)	3																																										
③	(例)先の見通しをもち、冬の気候を利用したり、むだがないように、物を利用したりして仕事をしていた (45字)	5	(2)② 5字以内で書かれたものを評価の対象とし、完答とする。順不同。 (2)③ 「先の見通し」「気候」「むだ」の3つの言葉を用いて、30字以上50字以内で書かれたものを評価の対象とする。正答例と同意であれば正答とする。																																									
(1)	表1	表2		グラフ1	1	4	27	(1) 表1を選択していることが明らかであれば○の位置等は問わない。 また理由は、表1にある数(概数にしてあるものも含む)を用い、富山県または岐阜県と比べて、発電量が少ないことについて書かれているものを正答とする。千、kWh、千kWhがないものや、単位の誤表記については、部分点として2点を与える。 (2) 完答とする。																																				
	(例)長野県の水力発電所での発電量は7,929,013千kWhであり、富山県の9,084,935千kWhより少ないから。			3																																								
	県倍			イ	5				5																																			
	(例)両方の県とも、2019年度は火力発電所の発電量が多く、発電量の合計も多い。			4	4																																							
	(例)海が遠く、燃料を運ぶ手間がかかるから。			4	4																																							
①	(例)グラフ2から、1980年の発電所1か所あたりの最大出力は約8000kWであるのに対して、表3で一番大きいBでも、約1000kWであり、発電所1か所あたりの最大出力が小さいから。		5	10	(5)① グラフ2から、2015年度以前の水力発電所1か所あたりのおよその最大出力を求め、表3の最大出力と比べて、発電所1か所あたりの最大出力が小さいことについて書かれているものを正答とする。 (5)② 40字以上60字以内で書かれているものを評価の対象とし、既存の施設を有効に活用していくことと、地域と連携していくことについて書かれているものを正答とする。どちらか一方のみが書かれているものは、部分点として2点を与える。																																							
	②	(例)大きな工事をせず、今あるダムなどを有効に活用しながら、地いきの人の思いを取り入れ、地いきの人にも役立つようにしていく。(59字)				5																																						
3	(1)	①	イ エ	3	26	(1)① 完答とする。順不同。 (1)② 「ひと目で」「言語」の2つの言葉を用いているものを評価の対象とし、正答例と同意であれば正答とする。また、文末に「こと」がなくても、内容が同意であれば正答とする。 (2)①② それぞれ完答とする。順不同。 (3)①あ 「ルール」も正答とする。 う 目的の場所を示していることが書かれているものを正答とする。 ② 「ルールを多くの人が共通して理解できること」について書かれているものを正答とする。																																						
		②	(例)ひと目で何を表しているのかわかり、言語のちがいがあっても伝わること。	4			7																																					
	(2)	①	オ キ ク ソ タ	3			6																																					
		②	テ ト	3																																								
	①	あ	禁止	3			13																																					
		い	国内外	3																																								
う	目的の場所へ自分自身で行く	3																																										
②	(例)ルールを多くの人々が共通して理解することができるから。	4																																										
4	(1)	あ	エ	3	23	(3) 160字以上200字以内で、2段落で書かれているものを評価の対象とし、筆者の考える「必要」「発明」が何にあたるのかについて書かれており、自分自身が「必要」にせまられ、それを解決するために取り組んだ経験、その経験から学んだことにふれて具体的に書かれているものを正答とする。 1段落目の「必要」の内容は、正答例を含め、「密をさけて生きていくこと」「やせた土地で生きていくこと」と同意であれば正答とする。 1段落目の「発明」の内容は「もの(ほ虫葉)でも「事柄(虫から栄養を取ること)でもどちらでもよい。 なお、部分点を次のように与える。以下にある(a)~(e)の要素について、1段落目の(a)(b)は両方書けて7点。同じように、2段落目の(c)(d)(e)もすべて書けて7点。 また、(a)(b)、(c)(d)(e)はそれぞれ完答とし、1項目でも書かれていない場合には評価の対象としない。																																						
		い	オ	3																																								
	(2)	カ		3			3																																					
	(3)	(例)筆者は、ハエトリグサにとっての「必要」は、ちっ素をふくむ栄養を取りこむこと、「発明」は、虫をとらえるためのほ虫葉にあたると思っています。今年の運動会では、時間も内容も限られた中でできることを考える必要がありました。全員でアイデアを出し合い、大なわとびや全員リレーなどの団体種目を増やすことで乗りこえました。このことから、協力して解決することの大切さを学びました。(194字)	14	14																																								

- (a)…筆者の考えるハエトリグサにとっての「必要」とは何か
- (b)…筆者の考えるハエトリグサにとっての「発明」とは何か
- (c)…自分自身がどんな「必要」にせまられたか
- (d)…解決するために工夫して取り組んだ経験
- (e)…その経験から学んだこと